若沼自治会

地域の話題

自治会紹介シリーズ

『若沼自治会』

大沼公民館管区内の中で最も世帯数が多いのが若沼自治会（1140世帯：自治会加入率95％）です。就任11年目の尾見嘉正会長にお話を伺いました。

今は、若松商店街を中心に宅地が広がり活気溢れる地域ですが、**昭和37年に宅地造成が始まるまでは松林に囲まれた畑で、所々に泉が湧き小さな流れを作っていたそうです。**

最初は東京や横浜から移住してきた250軒がひとつの町を形成し、当初は自治会が3つ、その後新設や統合を経て**昭和51年に若沼自治会として今に至っているそうです。**

若沼ふれあい広場や**若竹園**を有し、校区は大沼小と若松小。**あいロード商店会共催の若沼フェスティバル（提灯まつり）は今年で9回目です。**また、月1回開催の**ふれあいサロン「ひなたぼっこ」**は高齢者の娯楽、交流、情報交換をする茶話会として平成26年に開設し毎回約40人もの参加があるそうです。

「特に力を入れている事は？」と伺ったところ「何といっても**（安心・安全）**です」と即答でした。この分野の組織で実際に活躍していた方が役員として携わっているそうで、**防災訓練は大沼小と若松小で年2回実施し、月2回の防犯パトロールは毎回20名以上の会員で実施**しているそうです。

また興味深いのは、今年で2回目となる**「向こう三軒両隣り会議」**と、まだ準備中との事ですが、**はいかいパートナー「みちくさの会」**の結成です。自治会が発足して53年が過ぎ、急増する高齢者を抱える自治会にとってはこうした見守り体制を作ることが欠かせなくなっているとの事です。

また高齢化とも関連して困っているのが34軒にものぼる**「空き家問題」**だそうです。**いわゆる「ゴミ屋敷」問題の他にも放火の危険性、白アリの発生、ハクビシンの巣になっている等々、近隣住民はホトホト困っている**が、市に相談してもなかなか解決には至らず、実に頭が痛い問題です、とため息をついていらっしゃいました。

▲今日のパトロール異常なし

▲「ひなたぼっこ」でくつろぐ皆さん

紙面の都合でご苦労の全ては載せきれませんが、会長をはじめ役員の方々の日々のご努力を再認識した取材となりました。

次回は「自治会法人　東通り自治会」の予定です。

館報おおぬま第１６９号（平成３０年５月１日）からの抜粋です。